

## 教職員のための人権に関する振り返りシート

奈良県教育委員会

教職員は、児童生徒に接し指導することで、その成長や発達を促し支援するという役割を担っています。教職員の人権尊重の態度は、児童生徒たちに安心感や自信を生みます。とは言え、知らず知らずのうちに誰かの人権を侵害してしまっていることがあるかもしれません。常に教育活動や日常の生活場面において「一人一人を大切にしているか」点検することが重要です。このシートを使って、様々な観点から人権感覚について振り返ってみましょう。

### 使い方の例

- ◆ 自分自身の日常の言動や、児童生徒たちとの関わりなどについて振り返る
- ◆ それぞれの項目について、職員研修等で自由に話し合いながら、互いの人権感覚を見つめ直す
- ◆ 気付いたこと、感じたことを教職員間で交流する

項 目	
<b>児童生徒との関係づくり</b>	
1	児童生徒に自分から明るく笑顔で挨拶している。
2	児童生徒の表情やしぐさ、言葉づかいなどを観察し、気になる児童生徒には声をかけるようにしている。
3	忙しいときに児童生徒が話しかけてきたら、「あとで」と言ったり、話を最後まで聴かなかったりすることがある。
4	児童生徒がよくないことをしたときは、その背景を探ろうとするとともに、「何がいけなかったのか」「どうすればよかったのか」「次からどうすればいいか」などを丁寧に伝えるようにしている。
5	人権侵害につながるような言動に対しては、毅然とした態度で臨んでいる。
<b>児童生徒の自尊感情をはぐくむ支援</b>	
6	取り扱う学習内容や指導方法の特性をあらかじめ把握し、「分かる授業」「楽しい授業」づくりに努めている。
7	一人一人が安心して思いや意見を言えるような雰囲気づくりのために、あらゆる意見を受け止めるようにしている。
8	一人一人のよさや頑張りに対し、「素晴らしいね」「頑張っているね」といった声かけを積極的にしている。
9	日々の学校生活において、児童生徒が「できた!」と実感できるような場や課題を設定するよう心がけている。
<b>児童生徒の人権への配慮</b>	
10	忘れ物をした児童生徒に対し、注意を促すために名前を黒板に書き出したり、他の児童生徒の前で厳しく叱責することは、時と場合によっては必要であると思う。
11	児童生徒の容姿や体型について話題にしたり、揶揄するような発言をしたりしないように気をつけている。
12	不必要に児童生徒の体に触れたり、SNS 等での児童生徒との私的なやり取りはしないようにしている。
13	「男（女）のくせに」「女（男）らしく」などと言ったり、「力仕事だから男子が頑張ってるね」「女子なのに理数系が得意なんだね」というような性別で決めつけるようなことを言ったりする（した）ことがある。
14	児童生徒を固定的・断定的に見た言い方（「また〇〇か」「いつも〇〇だ」など）や、可能性や努力を無視した言い方（「君には無理だ」など）をしたことがある。
15	家庭事情や進路などのデリケートな話は、密室になるような部屋で児童生徒と一对一の状況で行っている。

※ これらの項目の中には、状況によっては一概に判断できないこともあります。できている（できていない）から正解・不正解ということではなく、人権が尊重された学校（学級）について教職員どうしで話し合ったり、定期的に自分自身の言動等について振り返ったりする際の資料として御活用ください。